

《決算の概要》

【連 結】

(単位：億円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
27 年 3 月期第 3 四半期	15,643 (9.7%)	1,318 (238.5%)	959 (911.7%)	707 (439.4%)
26 年 3 月期第 3 四半期	14,258 (11.9%)	389 (— %)	94 (— %)	131 (— %)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

【個 別】

(単位：億円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
27 年 3 月期第 3 四半期	14,021 (8.5%)	1,123 (181.0%)	793 (703.5%)	638 (296.5%)
26 年 3 月期第 3 四半期	12,924 (13.3%)	399 (— %)	98 (— %)	160 (— %)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

＜主要諸元＞

項 目	27 年 3 月期 第 3 四半期	26 年 3 月期 第 3 四半期
原 油 C I F 価 格 (ドル/バーレル)	102.5	109.5
為 替 レ ー ト (円/ドル)	107	99
原子力設備利用率 (%)	0.0	0.0

《販売電力量》

(単位：百万 kWh)

	特定規模需要以外の需要			特定規模 需 要	合 計
	電 灯	電 力	計		
27 年 3 月期 第 3 四半期	16,161 (△1.9%)	2,521 (△0.4%)	18,682 (△1.7%)	36,076 (△0.2%)	54,758 (△0.7%)
26 年 3 月期 第 3 四半期	16,478 (△2.3%)	2,532 (△6.2%)	19,010 (△2.8%)	36,141 (△0.2%)	55,151 (△1.1%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

《平成27年3月期（平成26年度）業績予想》

平成27年3月期（平成26年度）通期の業績予想については、今般、最新の需給状況等を踏まえ、平成26年10月30日に公表いたしました予想数値から、売上高および各利益の見通しを修正いたしました。

連結業績予想における売上高は、当社において、販売電力量の減少などにより、2兆1,700億円程度（対前回予想比0.5%減）となる見通しです。

経常利益は、原油C I F 価格の低下等による燃料費の減少などが見込まれることから、1,050億円程度（対前回予想比19.3%増）となる見通しです。

当期純利益については、780億円程度（対前回予想比14.7%増）となる見通しです。

＜平成27年3月期（平成26年度）通期業績予想＞

【連 結】

（単位：億円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想	21,800	1,320	880	680
今 回 発 表 予 想	21,700	1,530	1,050	780
（参考）平成26年3月期	20,388	856	390	343

【個 別】

（単位：億円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想	19,700	1,100	700	570
今 回 発 表 予 想	19,600	1,250	800	650
（参考）平成26年3月期	18,331	840	386	360

＜主要諸元＞

項 目	今 回
販 売 電 力 量（億kWh）	769 程度
原 油 C I F 価 格（ドル/バーレル）	94 程度
為 替 レ ー ト（円/ドル）	110 程度
原子力設備利用率（%）	0.0

《平成27年3月期（平成26年度）期末配当予想》

当社は、配当につきましては、安定的な配当を行うことを基本に、当年度の業績や中長期的な収支見通しなどを総合的に勘案し決定することを基本的な方針としております。

本日、業績予想を上方修正し、経費全般にわたる徹底した効率化に取り組んだことなどから、昨年度を上回る利益水準を確保できる見通しとなりました。こうしたことから、これまで「未定」としておりました期末の配当金につきましては、上記の基本的な方針および東日本大震災等により毀損した財務体質の回復の状況などを総合的に勘案し、1株当たり10円とさせていただく予定といたしました。

なお、本件につきましては、平成27年6月開催予定の第91回定時株主総会の決議をもちまして、正式に決定、実施する予定であります。

以 上